

研究支援部会報告

藤田 尚

新潟県立看護大学看護研究交流センター 研究支援部会

研究支援部会では、年々の予算が厳しい中で、効率よく地域課題研究を推進している。

地域課題研究とは、センターが募集する研究課題で、看護科学における教育と研究の成果を地域に還元し、県内の保健・医療・福祉の質の向上に貢献することを目的とするため以下の4分野についての研究を指している。

1. 研究課題領域

分野(1) 地域のヘルスケア・ニーズに関すること

分野(2) 地域医療システムの開発に関すること

分野(3) 看護職者の生涯教育のプログラム開発に関すること

分野(4) 大学におけるIT化事業に関すること

他に、原則として、複数の研究者により構成される地域をベースとする共同研究であること、が条件となっている。

このような条件で、研究公募を行った結果、平成20年度は、継続研究も含めて5題の研究が行われ、平成21年6月15日に報告会が行われた（以下）。

1) 長期臥床在宅高齢者と健常者の皮膚表面の健康度比較

ー清潔行為・スキンケアとの関連による比較ー

○堀 良子, 水口陽子, 岡村典子, 水澤久恵, 渡部江里子, 中川恵子

2) 外来通院している2型糖尿病患者の継続看護支援に関する研究

ー地域で生活している糖尿病患者が抱く思いからー

○直成洋子, 小林綾子, 渡辺春華, 板垣雅美, 秋山京美, 西山ひろみ, 中尾景子

3) 看護師を対象とした倫理教育プログラムの開発と評価に関する研究

ー上越地域看護師の倫理的問題解決能力の向上を目指してー

○水澤久恵, 小林綾子, 古澤弘美, 柳崎春美, 和田恵美子, 渡邊繁子, 高橋玲子,
竹原則子

4) 新潟県内の訪問看護ステーションにおける在宅療養支援診療所との連携に関する研究

○藤川あや, 平澤則子, 小林恵子, 飯吉令枝

5) がん看護CNS教育と臨地実務普及へ向けての実践研究

ー社会人修士課程及び課程修了後のフォローアップー（紙上発表）

柿川房子, 中村博生, 水澤久恵, 丸山美香, 北島昌樹, 星野めぐみ, 鈴木真理子,
三浦一二美

次年度以降も、地域との連携に重点を置き、多種多様で有意義な研究成果が出ることが期待されているところである。